

運動好きな子どもの育成 ～体育授業の充実からのアプローチ～

大分県日田市立高瀬小学校

全校児童数	188名(男子93名 女子95名)		
全クラス数	9	教職員数	19名
体育専科教員訪問学校数			2校
訪問校	日田市立日隈小学校 日田市立三芳小学校		
体育専科教員名		岩崎 敬	

Plan：取組時の課題と計画

1 取組時の課題

- ◆運動好きな子は多いが、運動嫌いの子が固定されている。
- ◆学年が上がるにつれて運動嫌いが増える傾向がある。

2 取組の計画

- ① 体育授業の改善
 - ・タブレット端末を使い、すべての子に学びの履歴を可視化させるとともに、一人ひとりの子どものつづやきを拾っていく。(添削→再考→授業→評価)
 - ・T.T体制の充実(授業をしながらの体育情報の共有)
- ② 特別活動の工夫
 - ・児童会が中心になって行う、「全校遊びの日」の実施
 - ・保健体育委員会が中心になって行う、体育館開放日と「異学年遊びの日」の実施。
 - ・子どもたちのアンケートを基にした、新たな運動会、持久走大会の実施。
- ③ その他
 - ・体育備品の購入(逆上がり練習器他)。
 - ・家族上体起こし週間の実施。
 - ・情報発信(体育専科通信・学校HPに体育専科コーナーの設置)
 - ・体育専科教員の公開授業による、校内職員の授業研究
 - ・子どもたちの声を聴くアンケートの実施。

Do：実践内容

1 体育授業の改善

- (1) 毎時間、全学年でのロイロノートの活用
 - ① プロジェクターを補助掲示物にしながら、提示や技能改善、思考の活性化などに活用した。
 - ② 言葉での理解に困る児童に対し、視覚支援としてタブレット端末を位置付けた。
- (2) T2の先生と単元単位の共有ノートの作成
 - ① 普段の授業では体育専科がT1をし、T2の先生が授業記録として、撮影や入力をしてもらった。
 - ② 単元後半や体育専科が不在の時は、共有ノートの学習履歴や授業で使える資料をもとに、T1とT2を入れ替えて授業を行なった。
- (3) 他県、他校の先生から情報収集
 - ① 公費の出張を活用し、北海道北見市の授業視察、山形の全国学校体育研究大会、熊本大学附属小学校の夏の実践研究会へ参加した。
- (4) 体づくり運動を通した運動プログラムの実践
 - ① 自己決定の運動プログラムを児童に提示した。

2 特別活動の工夫

(1) 保健体育委員会の活用

- ① 昼休みの体育館使用は継続し、業間の体育館使用も取り組み始めた。
- ② 新しい持久走大会のあり方を、児童アンケートを取るなどして子どもたちと考えた。

●工夫したこと(&苦労したこと)

- ① 毎時間のタブレット端末活用の準備は、それなりに時間を要してしまった。
- ② T2の先生によっては、ICTの活用に得意不得意が混在するため、それぞれに応じた対応を行なっていた。

Check：取組の成果

- ① 毎時間のタブレット端末の活用は、子どもたちにも浸透し、体育授業の成果を可視化することができ、評価もしやすくなった。
- ② 低学年や困りを抱える児童にとっても、多くのものを可視化することで、授業に参加しやすくなったように思われる。
- ③ クラウド上でのT2の担任とのやりとりは、打ち合わせに場所や時間を問うことがなく、スムーズにT1とT2の移行ができた。
- ④ 熊本の先生と体育授業のことを語ると「子どもが主語」「価値づけ」など、自分の中では出てこない言葉が出てくる。授業改善の視点を得ることができた。

on：今後の課題

- ① 体育授業は好きと答えてくれる児童は多いが、運動・スポーツが好きと答える数値に直結していないところもある。運動・スポーツの好きな子を増やすには、授業以外にも手立てが必要と感じている。
- ② 子どもたちに「持久走大会を変えていいよ」と伝えたものの、例年通り持久走大会を行うことになった。自ら運動が嫌いになる要素を減らし、自ら運動の特性や価値を味わうことのできる態度や知識の育成が、今後の課題と言える。

◎体力向上の取組がもたらす波及効果

体づくり運動で、自己決定の運動プログラムを提示して授業を行なった。子どもたちは自分で学ぶことの楽しさに気づき、私たちが教師主導の授業が多かったことに気づき反省した。体力向上の取り組み方によっては、子どもが学びの楽しさに気づききっかけになる。

11:26 1月14日(日)

岩崎 敬

1年1組 たいいく

マット運動・跳び箱運動 山村・岩崎共有ノート

今日の日課

23 授業履歴

22 授業履歴

提示した資料

マット運動

跳び箱運動

ジャングルゾーンで想うことができること

トラにそうくする。

くらいトンネルの中をくわがりながら進む。

蛇にそうくする。

びっくりしすぎて逃げた。

びっくりしすぎて逃げた。

手を触れたときにいきおいよくあしをたかく上げる

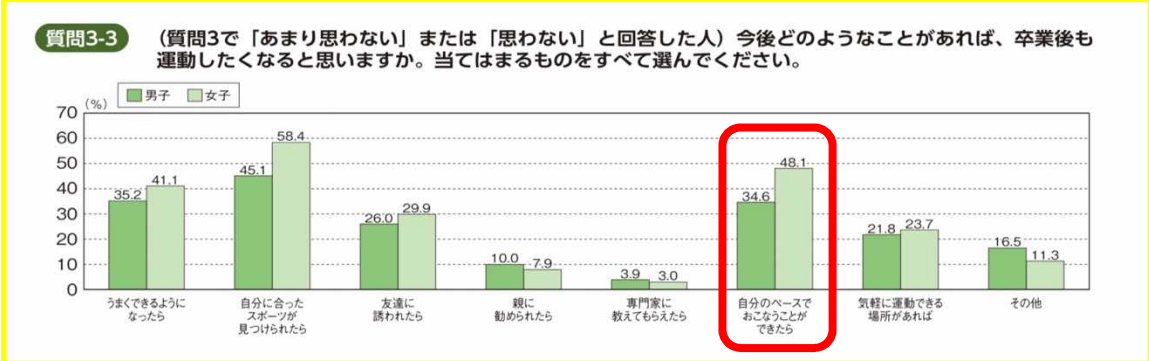
しょうめんを見る

りょう手をつき、あしを大きくひらく

下(マット)を見る

かた手をはなしかた足をつく

T2と一緒に使う共有ノートと、T2が主指導時に授業で使ったシンキングツール。



全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果。運動しようと思わない層の半数近くが「自分のペースで行うことができれば」運動したくなる」と回答。そこで教師主導の授業から、自分で調整して学習する取り組み。

